



おばま 市議会だより



No. 152



議会報告会.....P2
4月臨時会・6月定例会の概要...P4
市政を問う！一般質問.....P8



議会報告会開催

5月10日(水)、5月16日(火)、5月18日(木)の3日間にかけて、全12地区の公民館で議会報告会を開催しました。

議会定例会について報告した後、意見交換を行い、幅広い分野の貴重なご意見を数多くいただきました。

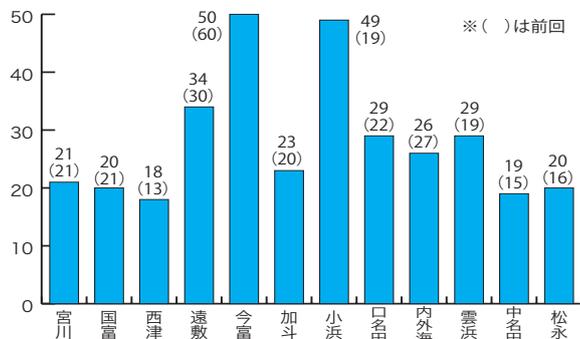
○議会報告会とは

平成25年4月1日に施行した小浜市議会基本条例により、年1回以上議会報告会を開催し、議会の説明責任を果たすとともに、市民の皆様からのご意見を議会活動に反映させることとされています。

いただいたご意見は、議会報告会連絡会(議長、副議長、各常任委員長、広報委員長、各報告会場の班長)において整理し、政策討論会などの議論や議会の政策立案、政策提言に生かします。また、この報告会で皆様からいただいたご意見は小浜市(行政機関)へもお渡しさせていただき、それらをまとめた報告会報告書を各地区公民館に後日お届けします。

○今回の各会場の参加者数

合計338名の方にお越しいただき、前回平成28年10月開催時より55名増加しました。



○参加者の意見(一部抜粋)

- ・北陸新幹線の開業に向けた小浜市としての施策が必要では。
- ・美郷小学校の建設進捗状況と小学校統廃合後の廃校跡の利活用は。
- ・農業集落排水事業の使用料について、今回の料金改定で値上げとなるが、今後も人口減少の中、大変厳しい状況で改善等は。
- ・大雪の場合の通学路の除雪はできないか。国道27号は車道の除

- ・雪した雪が歩道にのみあがっている。中高生の自転車や小学生の徒歩通学生が車道へ出て危険。
 - ・避難所になっている公民館・保育園・学校等公共の建物の駐車場の除雪はできないか。
 - ・公民館や小学校が避難場所となっているが、公民館は耐震補強が終わっていない。観光まち歩きをするのにトイレが必要。駐車場やまちなかのトイレの増設や改修の対応は。
 - ・舞鶴若狭道の4車線化はできないのか。
 - ・人口減は目に見えており、若い人の定住政策は。壊れそうな空き家を市で撤去できないのか。
 - ・快速鉄道の積立金の使い道は。
 - ・新しい斎場の計画は。
 - ・市内の河川の浚渫(※)状況は。
- ※ 浚渫(しゅんせつ) = 水底をさらって土砂などを取り除くこと



今富公民館



中名田公民館



遠敷公民館



口名田公民館



内外海公民館



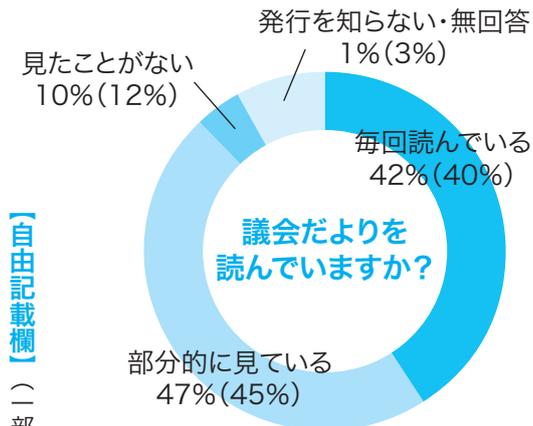
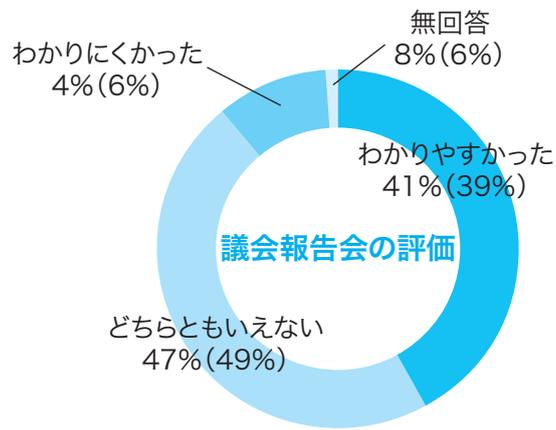
加斗公民館

アンケート結果

314名の方にご回答いただきました

まちづくり	48%
防 災	44%
産 業	33%
福 祉	20%
観 光	19%
教 育	17%
議 会	16%
環 境	16%
歴史・文化	5%
そ の 他	6%

【今後の希望テーマ】



※()は前回

- ・ 説明が分かりやすかった。意見が今後市政に少しでも取り上げられれば、この会の意味がある。
- ・ 報告内容についての資料は揃えてほしい。
- ・ 今後は議会報告だけでなく意見交換会を行ったほうが良い。
- ・ 市内で子供たちが遊べる施設を作ってほしい。
- ・ 全体的な報告会であったが、なぜか焦

【自由記載欄】(二部抜粋)

- ・ 点がぼけていている感じ。トピックス的な行事報告等混ぜた説明がほしい。
- ・ 政務活動費の後払い制への改正については非常に評価できる。
- ・ 高齢者の免許返納後の交通対策は一般的なタクシー券でなく、定期的に利用できる乗り物の増便、買い物タクシーなどの新設を要望。
- ・ 参加者が少なくもつたいない。
- ・ 他人まかせではいけないと思う。我々市民も自ら進んで参加したい。
- ・ 議会での賛否・論議の内容を一部でも具体的に聞きたかった。
- ・ 地域づくり、市議会、市政への理解を深め関心を高める大変貴重な機会になった。駅通りの空き店舗(空き家)対策を。
- ・ IT時代でありながら議会のホームページの更新が遅い。
- ・ 女性の参加をもっと増やす必要がある。
- ・ 回数を増やしてほしい。



西津公民館



小浜公民館



国富公民館



雲浜公民館



松永公民館



宮川公民館

4月臨時会の概要

平成29年第2回臨時会が4月24日に開催され、ふれあいスクールを移転する条例改正などの審査のほか、専決処分承認を行いました。主な内容については、次のとおりです。

● 主な条例等

◆ 小浜市ふれあいスクール設置条例の一部改正について

(小浜市ふれあいスクールを旧今富公民館から小浜市中央公民館へ移転するための改正)

賛成全員で可決

◆ 福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加および同組合の規約の変更について

(若狭広域行政事務組合の設立に伴う変更)

賛成全員で可決

6月定例会の概要

平成29年第3回定例会が6月8日から29日まで、22日間の会期で行われました。

今定例会では一般会計補正予算や、その他議案等を慎重に審議しました。

原子力発電所安全対策特別委員会、北陸新幹線小浜・京都ルート早期実現特別委員会、人口問題対策特別委員会を調査終了により廃止し、新たに北陸新幹線早期全線開業特別委員会と地域防災・原子力安全対策特別委員会を設置しました。

また各委員会などの構成が変更されました。主な内容については次のとおりです。



● 条例

◆ 小浜市災害危険区域に関する条例の制定について (P6参照)

賛成全員で可決

● 人事案件

◆ 固定資産評価審査委員会委員の選任について

高鳥 佐太一氏

(太良庄)

賛成全員で同意

● 陳情

◆ 「日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書」採択についての陳情書

(P6参照)

賛成少数で不採択

● 市会案

◆ 小浜市議会委員会条例の一部改正について

て

(P7参照)
賛成全員で可決

◆ 北陸新幹線早期全線開業特別委員会の設置について

(P7参照)

賛成全員で可決

◆ 地域防災・原子力安全対策特別委員会の設置について

(P7参照)

賛成全員で可決



【可決した平成29年度補正予算】

会計名	既決予算額	6月補正額	合計
一般会計	166億2,900万円	6億1,015万円	172億3,915万円
特別会計	94億1,012万円		94億1,012万円
企業会計	8億9,977万円		8億9,977万円
計	269億3,888万円	6億1,015万円	275億4,903万円

※端数処理の関係で合計額が一致しないことがあります

平成 29 年第 2 回臨時会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	議会の委任による専決処分の報告について（損害賠償の額を定めることについて）（2件）
予算	専決処分につき承認を求めることについて（平成28年度小浜市一般会計補正予算（第10号））
条例	専決処分につき承認を求めることについて（小浜市市税条例の一部改正について）
	専決処分につき承認を求めることについて（小浜市国民健康保険税条例の一部改正について）
	専決処分につき承認を求めることについて（小浜市都市計画税条例の一部改正について）
	小浜市ふれあいスクール設置条例の一部改正について
その他	福井県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加および同組合の規約の変更について

平成 29 年第 3 回定例会採決結果

賛成全員で可決、同意した議案等

項目	件名
報告	平成28年度小浜市一般会計予算繰越明許費の報告について
	平成28年度小浜市一般会計予算事故繰越しの報告について
	平成28年度小浜市下水道事業特別会計予算繰越明許費の報告について
	平成28年度小浜市水道事業会計予算繰越の報告について
	株式会社ケーブルテレビ若狭小浜経営状況の報告について
	小浜市総合卸売市場株式会社経営状況の報告について
	株式会社まちづくり小浜経営状況の報告について
	小浜市地域防災計画（一般災害対策編・地震（津波）災害対策編）の改定について
	小浜市国民保護計画の改定について
予算	平成29年度小浜市一般会計補正予算（第1号）
条例	小浜市議会委員会条例の一部改正について
	小浜市災害危険区域に関する条例の制定について
人事	固定資産評価審査委員会委員の選任について（高鳥 佐太一氏）
その他	北陸新幹線早期全線開業特別委員会の設置について
	地域防災・原子力安全対策特別委員会の設置について

賛否が分かれた議案等

全=賛成全員（可決・採択） 多=賛成多数（可決・採択） 否=賛成少数（否決・不採択）
 ○=賛成 ×=反対 欠=出席せず 除=除斥（規定により採決に加われない）
 棄=棄権（採決時に退席） ※下中雅之議員は議長のため採決には加わっておりません。

項目	件名	採決結果	熊谷	竹本	牧岡	藤田	佐久間	西本	小澤	今井	能登	下中	三木	垣本	藤田	風呂	富永	清水	池尾	賛成	反対
			久恵	雅之	輝雄	靖人	清司	長純	伸治	恵子	雅之	尚	正直	善平	繁昭	芳夫	正信	正彦			
陳情	「日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書」採択についての陳情書	否	×	×	×	×	×	×	×	×	○		×	×	×	×	×	×	×	1	15

委員会審査

予算決算常任委員会 (6月補正)

◆JＲ小浜駅周辺環境整備事業

2964万6000円

○ 小浜駅のトイレは駅の構内にありJＲが管理するものだが、そのトイレを市が改修することになった経緯・理由。

○ JＲ側から、市が公衆トイレとして管理するのなら改修を許可するという提案があり、トイレに対する市民からの苦情が多く寄せられていること、平成30年には国体が福井県内で開催されること、平成34年度末には北陸新幹線が敦賀駅まで開業することなどを背景に、市民や観光客など利用者の利便性向上を最優先と考え、市主体でトイレを改修することとなった。

○ **意見** この改修で、今後駅ホームからトイレの利用がでなくなる。利用者へ周知するための

案内表示の設置を。

○ **意見** 工事期間中は仮設トイレを設置することから、周辺に悪影響が出ないようしっかりと対応し早期完成を目指してほしい。

◆「鯖を愛するまち」小浜・全国発信事業

1500万円

○ **説明** 小浜のアンテナ料理店を開設するにあたり、株式会社鯖やが経営する、大阪、京都、東京の3店舗の改装費、PR費、人材の研修費などに支出

○ **民間企業との連携** 事業の効果や小浜市にとってのメリットは。

○ **答** 一般的なアンテナショップよりも集客力もあり、効果的に鯖街道や小浜市のPRに役立つと考えている。

○ **意見** 民間企業が短期間で撤退することがある。なので、そのようなことがないよう今後も十分に効果を検証しながら、この事業を進めてほしい。

◆社会福祉施設等整備助成事業 300万円

○ **説明** 敦賀市に所在する社会福祉法人白梅学園の施設改修に対する助成

○ **本市に対する助成** 要望額が424万円に対し、なぜ助成額が300万円となったのか。

○ **助成額については**、「嶺南地域内に設置される社会福祉施設等の整備に係る社会福祉法人に対する助成に関する要領」に基づいての決定であり、要領で定めた助成限度額が300万円であるため。

◆社会資本整備(橋梁長寿命化) 5000万円

○ **2035年には小浜市内の37の橋が建築後50年以上を迎えるということがあるが、実際に架け替えが必要な橋があるのか。**

○ **損傷度合いから修繕** に対応できると考えている。平成30年の法定点検が終了した時点で、橋梁長寿命化計画を見直していく予定である。

◆道路除排雪機整備費補助事業 200万円

○ **補助内容について**。

○ **昨年度のような大雪** に対応するため、市と除雪契約をしている業者の除雪機購入補助であり、今年度は合計で2台増えることになり、除雪効率も良くなると考えている。

○ **除雪機のオペレーターの育成や確保にも努めてほしい。**

◆基礎学力充実対策事業 39万8000円

○ **対象児童は日本国籍を有しているが、日本で生活実態がなく日本語が全く話せないため、学校生活や学習支援、日本語指導を行うことを目的に、日本語指導支援員1名配置する。**

○ **国の財政支援、財源** について

○ **国の財政補助の制度** については今のところなく、予算は自治体対応になっている。

○ **核兵器をなくすという理念は非常によく理想的であるが、核保有国が参加していない状況で、条約の実効性を考えると現実性がない。**

◆自然光利用型の連棟ハウス整備事業 1億7140万9000円

○ **今まで農業の経験がない方が経営するとなると、販路等にどう対応していくのか。**

○ **事業主の地域の資源** を生かしながらやっていきたい。地域の雇用を増やしたいとの熱意もあり、JAの販路・ノウハウを活用して進めていくことになると考えている。

○ **災害危険区域指定から輪中堤完成までの間、固定資産税の減税はあるのか。**

◆陳情第4号 「日本政府に核兵器禁止条約の交渉会議に参加し、条約実現に真剣に努力するよう求める意見書」採択についての陳情書

○ **現在のところ行う予定がなく、全国的に事例が少なく、今後、調査・検討を行っていく。**

○ **区域内の道路が冠水した場合の住民の避難方法と輪中堤の完成時期は。**

○ **道路が冠水しないように改良中である。輪中堤の完成時期は県と協議・確認中であり早期事業採択に向け鋭意努力している。**

○ **プロセスが担保されていない。**

産業教育常任委員会

◆議案第60号 小浜市災害危険区域に関する条例の制定について

○ **説明** 江古川流域において、治水対策として輪中堤の整備を行うため、建築基準法第39条の規定に基づき災害危険区域指定に関する条例を定めるもの。

○ **災害危険区域指定から輪中堤完成までの間、固定資産税の減税はあるのか。**

○ **現在のところ行う予定がなく、全国的に事例が少なく、今後、調査・検討を行っていく。**

○ **区域内の道路が冠水した場合の住民の避難方法と輪中堤の完成時期は。**

○ **道路が冠水しないように改良中である。輪中堤の完成時期は県と協議・確認中であり早期事業採択に向け鋭意努力している。**

○ **プロセスが担保されていない。**

委員会などの構成が変わりました

●若狭広域行政事務組合 議会

議 員	今 井 伸 治
〃	風 呂 繁 昭
〃	清 水 正 信

●公立小浜病院組合議会

議 員	熊 谷 久 恵
〃	佐 久 間 博
〃	今 井 伸 治
〃	能 登 恵 子
〃	三 木 尚
〃	垣 本 正 直
〃	藤 田 善 平
〃	風 呂 繁 昭
〃	清 水 正 信
〃	池 尾 正 彦

●若狭消防組合議会

議 員	竹 本 雅 之
〃	牧 岡 輝 雄
〃	藤 田 靖 人
〃	西 本 清 司
〃	小 澤 長 純
〃	下 中 雅 之
〃	富 永 芳 夫

●小浜市・若狭町・高島 市総合振興協議会

副 会 長	今 井 伸 治
監 事	能 登 恵 子
委 員	竹 本 雅 之
〃	藤 田 靖 人
〃	垣 本 正 直
〃	風 呂 繁 昭
〃	清 水 正 信
〃	池 尾 正 彦
顧 問	下 中 雅 之

●北陸新幹線早期全線開 業特別委員会

北陸新幹線京都・小浜ルート
の早期開業に向けた取り組
み、および調査、研究を担当

委 員 長	垣 本 正 直
副 委 員 長	佐 久 間 博
委 員	熊 谷 久 恵
〃	牧 岡 輝 雄
〃	藤 田 靖 人
〃	三 木 尚
〃	藤 田 善 平
〃	池 尾 正 彦

●地域防災・原子力安全 対策特別委員会

地域防災および原子力発電所の
安全対策等の調査、研究を担当

委 員 長	風 呂 繁 昭
副 委 員 長	小 澤 長 純
委 員	竹 本 雅 之
〃	西 本 清 司
〃	今 井 伸 治
〃	能 登 恵 子
〃	富 永 芳 夫
〃	清 水 正 信

●広報委員会

議会広報誌に関することを
担当

委 員 長	西 本 清 司
副 委 員 長	竹 本 雅 之
委 員	熊 谷 久 恵
〃	牧 岡 輝 雄
〃	今 井 伸 治
〃	池 尾 正 彦

●嶺南広域行政組合議会

代 表	小 澤 長 純
議 員	牧 岡 輝 雄
〃	佐 久 間 博
〃	池 尾 正 彦

●議会運営委員会

議会運営全般を担当

委 員 長	富 永 芳 夫
副 委 員 長	西 本 清 司
委 員	牧 岡 輝 雄
〃	藤 田 靖 人
〃	三 木 尚
〃	垣 本 正 直

●総務民生常任委員会

総務部、企画部、民生部など
を担当

委 員 長	牧 岡 輝 雄
副 委 員 長	竹 本 雅 之
委 員	佐 久 間 博
〃	今 井 伸 治
〃	三 木 尚
〃	藤 田 善 平
〃	富 永 芳 夫
〃	清 水 正 信

●産業教育常任委員会

産業部、教育委員会を担当

委 員 長	藤 田 靖 人
副 委 員 長	熊 谷 久 恵
委 員	西 本 清 司
〃	小 澤 長 純
〃	能 登 恵 子
〃	下 中 雅 之
〃	垣 本 正 直
〃	風 呂 繁 昭
〃	池 尾 正 彦

●予算決算常任委員会

予算と決算に関することを
担当

委 員 長	小 澤 長 純
副 委 員 長	佐 久 間 博
委 員	議 長 除 く 全 議 員

市政を問う！一般質問

平成 29 年第 3 回（6 月）小浜市議会定例会

※一般質問の原稿は発言議員が自ら作成しています。

ページ	氏名	質問項目
8	西本 清司	1. 小浜市の除雪対応について 2. 市内の空き家について
9	垣本 正直	1. 北陸新幹線の早期整備・開業について 2. 小浜美郷小学校開校に伴う課題について 3. 国体ビーチバレーボール会場の整備について
9	風呂 繁昭	1. 行、財政の改革 2. 若者や働き盛り世代が参画できる地域づくり 3. 環境基本計画
9	牧岡 輝雄	1. 平成 29 年度の養殖事業について 2. 海のまちづくり計画について 3. 御食国と鯖街道について
10	小澤 長純	1. 下水道事業について 2. 介護予防・日常生活支援総合事業について
10	藤田 善平	1. 教育環境の整備と地域の課題を問う 2. 北陸新幹線敦賀駅開業後の市の振興策を問う 3. 災害危険区域指定と地域振興を問う
10	能登 恵子	1. こどもの貧困について
11	竹本 雅之	1. 上中・今津間の道路整備について 2. 大手橋・西津橋架け替え工事について 3. 道路の白線等について
11	熊谷 久恵	1. 交通安全対策をふまえた今後の都市計画 2. ふるさと納税について



西本 清司
議員

問 小浜市の除雪対応について、現在の市道の管理状況で総延長距離、除雪対象・対象外路線等について、またこれまでの降雪の状況や除雪状況、そして実際の対応はどうであったか。除雪対象外の道路とは、何が原因で対象外となっているのか実態などを問う。

答 市道の総延長は 435 km でそのうち除雪対象延長は 260 km、対象外は全体の 40% の 175 km である。近年では 28 年度が最も除雪作業の予算が多くなり 7000 万円を超えた。除雪体制は 21 年度以降は大規模な増強はないが、除雪能力向上のため徐々に機械の種類変更や規格を大きくしている。除雪対象外路線は物理的要因としては、

除雪対応と、空き家について対策を問う

問 市内の空き家について現状はどうなっているのか、従来の対応はどうであったか。また市の法整備に対してはどのようになっているのか、どこまで進んでいるのか、また今後の対応はどのようにするのかを問う。

答 これまでの調査結果では市内全域で 735 件ある。うち対応を要するものが 93 件であったが、ここ 2 年間で危険な空き家が 4 件解体されている。また昨年度には利活用の補助対象が 4 件あり、制度を活用した事業の創出がある。今年度中に法制度で必要な対策協議会や対策計画及び適正管理条例等定め「特定空家等」の認定などで所有者等へ必要な措置を助言・指導・勧告及び命令していく。

未舗装道路や幅員が狭いこと、交差点の余裕など、除雪機械によることがあげられる。

一般質問



垣本 正直
議員

○ 小浜美郷小学校開校に伴う通学方法について徒歩通学距離の変更理由について伺う。

○ 北陸新幹線の早期整備・開業についてルートが決定した今、整備効果を早く生み出すためには大阪までの早期全線開業が必要である。各同盟会の今後の取組みを伺う。

○ 敦賀〜新大阪間の整備は平成42年度末の北海道新幹線札幌開業よりも早い開業を各同盟会と連携し要望活動など積極的に行い早期開業に向け取り組む。

○ 5年後の敦賀開業に向けJR小浜線の高速化や主要駅のみの停車する快速電車の運行について伺う。

○ 高速化による利用促進につなげるため、市長はJR西日本金沢支社長に要望しており、今年度、県も平成30年度の最重要項目にあげて要望している。

北海道新幹線札幌開業より早い全線開業を目指す!!

○ 道路状況や様々な要因による危険性が考えられることから児童の安全確保を最優先に考え通学距離が2km以上の地区はスクールバス運行とし2km未満は徒歩通学とした。

○ 統合小学校の閉校事業に関する考えについて教育委員会が主催する閉校式典や地区が行う閉校事業について市の考えを伺う。

○ 事業の内容や過去に実施した例を参考に検討し必要な予算を要求する。

○ 国体ビーチバレーボール会場鯉川に常設練習施設の整備について県代表選手所属の㈱オーイングの部員が本市に練習拠点とした施設の整備を伺う。

○ 選手・競技団体からの要望や、競技に對する市民の盛り上がり等を勘案し検討する。



風呂 繁昭
議員

○ 平成22年に株まちづくり小浜として発足。当初の売上4400万円。現在は2億2000万円。当初の5倍の売上である。5年目には運営補助金も終わり、3年連続で観光庁の補助金を受け、精力的に頑張っており、昨年度決算も黒字を達成するなど良好な方向に進んでいる。「観光局」が独り立ち出来る環境が整ったと思うが、自立の方向に進む取り組み状況について伺う。

○ 扶助費(社会福祉費、老人福祉費、児童福祉費、生活保護費)について十数年前に比べると倍の24億円を越す金額である。

○ 扶助費は社会保障制度の一環として実施される経費で、人件費や公債費と同様、容易に削減できない。国は地方公共団体に於ける財政のマネジメント強化を求め、コスト情報やストック情報を把握できる地方公共会計の整備を今年度中に求めている。統一的な基準による財務書類の「行政コスト計算書」の整備内容を伺う。

○ 企業における損益計算書に相当する財務処理であり「経常費用」と「経常収益」の差引から「純経常行政コスト」を算出できる。職員だけで

なく市民の皆様のコスト意識や管理等、行政管理が可能になる。

地方公共会計の整備、行政コスト計算書



牧岡 輝雄
議員

○ 北陸新幹線開業までに、交流人口を増やし、定住促進や地域活性化、観光誘客を進める必要があるが、御食国や鯖をキーワードにした事業の成果や今後の取り組みを伺う。

○ 日本遺産認定以後、誘客プロモーションのためのコンテンツとなるウェブサイトを、映像、パンフレットを作成し、エージェントへの営業活動を積極的に展開してきた。このような取り組みの結果、「御食国と鯖街道」という食ブランドに興味を持つ方が増加しており、新たな観光コンテンツとして、鯖街道沿いの町並みや社寺を巡る街道観光、ウォーキング商品の人気が高いことも判明した。現在、食や食文化のブランド化をめざし、

鯖の養殖やクラウドファンディングの導入による産業活性化を実施している。

御食国と鯖街道について

○ 古民家を活用した休憩どころ2軒を整備し、地域住民が主体となって運営管理の取り組みも始まった。学校教育でも、小浜を担う人材育成の一環として、御食国や鯖街道を体験学習の中に取り入れ、市外でのPR活動を実施している。

○ おばま観光局では、「若狭もん」ブランドのインターネットサイト立ち上げや、「鯖」復活プロジェクト」冊子の発行など鯖街道終点の京都市内で積極的なPR活動を行い「食のまつり」では、5万2千人の入り込みがあり、今後も入込数の増加が期待できる。日本遺産「鯖街道」は全国発信の重要な素材であり、路線・高速バスのラッピング等露出を増やしPR効果を高める。



小澤 長純
議員

○ 公共下水道の使用料が、県下9市の中で一番高い要因は。

○ 短期間に集中的に整備したことに伴い多額の地方債を借り入れし、借入時期が償還利率の高い時期であった。また、地下水位が高く工事費が割高になったことや下水道処理区域内の人口が他市と比較して少ないことによると考えている。

○ 市内の公共下水道、農業集落排水、漁業集落排水の使用料に、大きな差がある要因は。

○ 集落排水は、処理区域内人口が少なく集落と集落が離れており、人口密度が低い割に管路延長が長く、地区ごとに処理場が必要になり効率的な整備が難しかった。また、多額の地

方債の借り入れと償還利率の高さが経営を大きく圧迫したことも要因である。

○ 農業集落排水の各施設についても、使用料の人員割に大きな差があるが要因は。

○ 各施設は、整備時期や規模の違いから地方債償還金が異なる。使用料が低い施設については、整備に伴う地元負担金を建設時にすでに支払っており、使用料にその分が加算されないことや維持管理費の中の貯金にあたる基金積立金に余裕のある施設である。

下水道料金が高いのはなぜ？

○ 平成23年に農業集落排水管理組合の組合長連名による「基本料金4400円、人員割1人当たり950円を上限とする」意見書が出されている。市の考え方は。

○ 市としては、この「使用料の上限設定」について、非常に重く受け止めており、尊重して参りたい。



藤田 善平
議員

○ 小浜美郷小学校における通学児童の安全対策について伺う。

○ スクールバス通学の範囲については、松永地区、国富地区および宮川地区と、遠敷地区の金屋、竜前、神宮寺、忠野および下根来区が対象であり、遠敷地区のその他の集落については徒歩通学の対象としている。徒歩通学において、特にJR小浜線踏切部分の整備や歩道の設置など要望があり、引き続き関係機関と調整を行っていく。

○ 閉校事業の予算措置について伺う。

○ 教育委員会主催で開催する閉校式典にかかる予算については必要な予算要求を行っていく。地区の方々が主催される閉校事業についても、

内容や過去に実施した前例を参考に検討し、予算要求を行っていく。

○ 市内小・中学校の今後の統合・再編計画について伺う。

○ 再検討を行うための委員会を立ち上げ、計画案を再度練り上げたいと考えている。

○ 北陸新幹線敦賀開業を見据え、JR小浜線のダイヤ改正と高速化について伺う。

○ 京都市北部地域自治体との今後の連携について伺う。

○ 生活圏や経済圏が飛躍的に拡大することが見込まれ今後とも連携をより一層深めてまいりたい。

平成31年4月小浜美郷小学校開校！



能登 恵子
議員

○ 「こどもの貧困について」各担当課別の取り組みと対策を伺う。①子ども未来課「要保護児童対策協議会」「保育現場」

②市民福祉課の自立促進支援③教育委員会へ就学援助等

○ 児童福祉法に基づき、児童の虐待防止や要保護児童の適切な保護や支援を図るため「要保護児童対策協議会」が各組織や専門機関と連携し支援。昨年は583件の相談「保育の現場」からは、園児の生活リズムを把握し、睡眠、食事、顔色、体重、身体異変の有無など把握し対応。

②生活保護に至る前の自立支援をし、子どもへの対策は生活保護世帯へ学習支援事業を、委託した市内の学習塾へ。1人

こどもの貧困はこどもの責任ではない

利用。③学校現場から就学支援の現状は全学年の9.3%が対象で実費との差があると思

うが国の基準の中心支給している。「入学準備金（低所得世帯の小中学校入学時に支給される学用品費）」は、6月以降に支給となつている。保護者の負担軽減のため、援助を必要とする時期に支給することが望ましいと考えており、入学前に支給できるよう手続きを進めている。制服は各学校の形状や色などの指定はあるものの、購入先や購入金額までの指定は行っていない。学用品取扱店情報を伝え、保護者が購入先を選択できるようになっている。

生活困窮者やひとり親世帯への学習支援は非常に大事と考えている。今後の状況で対象者の見直しや実施方法等を検討、また子ども医療費窓口無料化を来年4月から実施予定。

生活困窮者やひとり親世帯への学習支援は非常に大事と考えている。今後の状況で対象者の見直しや実施方法等を検討、また子ども医療費窓口無料化を来年4月から実施予定。

一般質問



竹本 雅之
議員

問 国道303号の高規格化について問う。

答 高規格道路は様々な条件のもと国が選定採択するもので、地形的な条件等から事業費が多額になるなどの課題がある。市としては、まず国道303号の整備促進を優先する。今後、高規格道路に格上げする可能性は、沿線自治体と意見交換を行い研究していきたい。

問 大手橋・西津橋架け替え工事中の迂回路交差点への信号機設置や信号機時間の変更について問う。

答 信号機の設置や時間の変更等は、道交法に基づく規制で、公安委員会の管理だが、市も交通安全対策を講じる必要があると認識している。信号機の設置は、信号機設置の指針に基

道路整備と信号機等の交通安全対策

づき、地元の要望や道路管理者の意見を踏まえて、真に必要な場所に設置される。

問 時間の変更は、交通量に基づき調整が可能。住民のご意見やご要望を十分お聞きし、関係機関と連携して安心・安全の確保に努めていきたい。

答 やまなみ保育園前の県道を40キロ規制に見直すことはできないか問う。

答 速度規制は、信号機と同様に公安委員会が地元の要望や道路管理者の意見、交通量の調査結果等を踏まえて設定しており、関係機関と連携し、安心・安全の観点から、適切に対応していきたい。

問 道路の白線等の把握と補修を問う。

答 担当課職員による道路パトロールのほか地域住民の連絡により確認している。補修は緊急性・重要性により、優先順位を決めて対応している。



熊谷 久恵
議員

問 交通事故の現状は。

答 平成28年は人身事故36件、物損事故719件。

問 道路標識等の交通安全の確保は。

答 道交法に基づくものは公安委員会主導のもと一旦停止の規制や横断歩道の位置変更等の対策を、道交法規定外のグリーンゾーンや「徐行」等の警告表示は、道路管理者が対応。昨年、公安委と市合同で地域協力のもと、速度制限区域を設けるゾーン30と仮設式のハンブと呼ばれる突起の設置を行った。

問 安全対策が行き届いたまちづくりとは。

答 路面上への文字や注意喚起看板などの設置は有効と考える。一方、過剰な表示は利用者の混乱を招くことも。道路利用の

市民の交通安全の確保とふるさと納税

利便性と安全性のバランスが取れたまちづくりの可能性を考えていきたい。

問 ふるさと納税について平成28年度の受入れ状況は。

答 2万5478件、3億9057万9450円。増加要因はインターネット申込、クレジット決済導入、返礼品の拡充の他、ふるさと納税ワンストップ特例制度など制度の拡充が挙げられる。申込みは東京都や大阪府等、大都市圏が大半である。

問 寄付者が選択できる用途について問う。

答 産業振興、教育振興、指定なしの3つを提示している。

問 用途の見える化は寄付者の応援したい気持ちに配慮すると同時に、市民も恩恵を知る機会となる。具体的な事業を示す考えは。

答 他自治体の事例を研究し、具体的な事業を示す事も検討したい。

● ホームページをご覧ください

採決結果や次回定例会の日程、本会議の動画配信（本会議終了後約2週間程度で視聴できます）などさまざまな情報を掲載しています。



小浜市議会

検索

議会を傍聴しませんか？

住所と氏名を書くだけで傍聴することができます。小浜市役所5階の議会事務局までお越しください。

一次回定例会の日程

8月29日(火)	本会議
9月12日(火)	一般質問
9月13日(水)	一般質問
9月20日(水)	本会議
10月6日(金)	本会議

あなたの1枚で表紙を飾ってみませんか??

小浜市議会だよりの 表紙写真 募集中!!

詳しい要項や過去の議会だより表紙は小浜市議会ホームページをご覧ください。ご応募をお待ちしています。

【応募規定】

1. 小浜市内で撮影された未発表のもの
2. 画像データは1作品2～3MB程度のJPEGデータ
※メール受信の都合上、画像のデータサイズは2～3MB程度でお願いします。

【応募方法】

・応募は、データの持参またはメールでお願いします。

メールアドレス：

gikai@city.obama.fukui.jp

・作品名には①題名、②撮影場所、③撮影日時、④住所、⑤氏名、⑥電話番号を明記してください。

【その他】

- ・撮影した人物や対象物が個人の所有物である場合には、必ずご本人または所有者の承諾を得てください。(肖像権に関する責任はすべて応募者に属します。)
- ・提出された写真は必要に応じてトリミング等を行うことをご了承ください。
- ・応募いただいた画像は広報委員会で選考の上、掲載させていただきます。

紙面の都合等で掲載できない場合がございますがご了承ください。

寄附行為の禁止

公職選挙法により、議員は選挙区内の人や団体に対しての寄附行為や金品の授受をすることが禁止されています。禁止されている例として以下のようなものがあります。

- 町内会・自治会の集会や旅行など催し物への差し入れ
- お祭りへの寄附や差し入れ
- 地域の行事や運動会への差し入れ
- 病気見舞い
- 落成式や開店祝いの花輪、葬式の花輪、供花
- 本人以外が代理で出席する場合の結婚祝いや葬式の香典
- 出産、入学、卒業、就職等の祝い金や祝い物
- お中元やお歳暮
- 年賀状、暑中見舞い等の時候のあいさつ状（答礼のための自筆を除く）

また、政治家に寄附をするよう勧めることや、求めることも禁じられていますので、皆様のご理解をお願いいたします。

今月の表紙

5月26日、小浜小学校の3年生が校外活動の一環として、市役所の仕事を見学しました。議会の見学では、実際に議場に入り、本会議と同様、電子採決システムを使った採決を体験しました。児童たちは、賛成、反対の票数がそれぞれ変化すること、一喜一憂しながら議会の仕事を学びました。

編集後記

第17期市議会も後半に入り、今6月定例会において各委員会の委員構成も刷新され、当広報委員も交代をいたしましたので今後ともよろしく申し上げます。

この「議会だより」がより親近感のある議会広報の源となることを目指して取り組んでおり、議会がどのような事案・内容を議論・審議しているのかを市民の皆様により一層ご理解いただけるよう努力しております。

また本市の議会運営に、市民の皆様のご意見を今以上に反映させられればと考えており、それには市民の皆様のご意見等が必須であり、市民の皆様と一緒につくっていかれたらと思っています。

ご意見・ご要望など何でも結構です、ごんごんお寄せください。
(広報委員長 西本)



広報委員会

上段左から 熊谷、牧岡、今井
下段左から 竹本、西本、池尾